Ⅰ　青果情報

１　１月下旬～２月中旬までの経過

気　象

１月下旬は、気温は全国的に平年より高く、降水量は北日本、東日本太平洋側で平年より大幅に多く、沖縄・奄美では大幅に少なかった。

２月に入ると、東日本太平洋側、西日本でぐずついた天気が続いた。寒波は周期的にくるものの冷え込みの弱い日が続いた。気温は、全国的に平年より２度以上高くなった。降水量は関東地方以西で平年より多く、北日本及び沖縄・奄美で少なくなった。日照時間は、北陸地方以北及び沖縄・奄美で平年より多くなり、特に北日本の日本海側で多かった。

野菜類

入荷量

暖冬で好天に恵まれたことから、多くの品目で生育は良好かつ前進傾向となった。

葉茎菜類の入荷量が潤沢で、「ブロッコリー」は前年を大幅に、「こまつ菜」「しゅんぎく」は前年をかなり上回る入荷となった。

野菜全体では、１月下旬から２月中旬までの入荷量は 114,332 t（前年比 99.2%）と前年並だった。

相　場

「だいこん」「キャベツ類」などは前年をかなり下回ったが、猛暑の影響を受けた「ねぎ」「たまねぎ」は前年を大幅に上回った。

野菜全体では、１月下旬から２月中旬までの価格は 259 円/kg（前年比 99.0%）と前年並だった。

果実類

入荷量

「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に入荷。

「りんご類」は、猛暑の影響で貯蔵量少なく、前年を大幅に下回った。「いちご類」は１月下旬に各産地２番果が出揃い、量が増え始めたことで、前年並になった。

果実全体では、１下旬から２月中旬の入荷量は 33,410t（前年比 92.7%）とかなり下回った。

相　場

「りんご類」は入荷量が少ないため、前年を大幅に上回った。「みかん類」、「いちご類」は前年をやや上回った。

果実全体では、１月下旬から２月中旬の価格は 578 円/kg（前年比 110.7%）とかなり上回った。